



日本クリスチャン・アシュラム連盟

# 日本アシュラム

アシュラムとはスタンレー・ジョーンズ師がインドの退修方式を取り入れて創設されたキリストの新しい祈禱運動である。

開心・静聴・充滿・献身・奉仕

〒181-0011 東京都三鷹市井口3-15-6 池の上キリスト教会内 日本クリスチャン・アシュラム連盟 振替口座 東京 00100-1-4558

牧之原市で開拓伝道を始め、二六年になります。六畳一間での家庭集会時代が十七年程も続き、家族だけの細々とした集いとトラクト配布などを続けましたが、中々結果は見えず「主よ夜通し働きましたが、何ひとつ取れませんでした」（ルカ福音書5章5節）これが実態でありました。

しかし、主は「深みに漕ぎ出して、網をおろして魚を取りなさい。（ルカ福音書5章4節）と言われました」。深みに漕ぎ

## アシュラムの恵み



単立牧之原キリスト教会  
牧師 横山 勲

出す切っ掛けとなったの出来事が二〇〇四年に起こりました。八月のこと祈りの中で突然聖霊の満たしを受け、主の臨在を経験し、信仰がリバイバルされたこと、また、九月には薫科茂師夫妻の導きにより第四二回関東アシュラムに初めて参加したことであります。「イエスは主である」との告白に基づく徹底した献身、聖霊の導きに依り頼む祈り、特に教職者と信徒の隔壁を取り払って真の主の兄弟姉妹としての交わりに心奪われるものを感じさせられました。以来十四年、妻と共に参加させて頂きその恵みに与ってまいりました。

アシュラムの恵みの一つは、祈りであります。祈りの細胞において、心を開いて現状を証しし具体的に祈って頂きました。主はこの祈りに答えて下さり二〇一〇年には、この地に開拓して初の受洗者が与えられ、以来毎年二ードに求道者が救われるように祈って頂き十名の受洗者が加えられたのです。中には十三年間も祈って頂きましたが実を見ることのない姉妹もあり、なかば諦めていましたが、昨年受洗の恵みにあづかり一年の信仰生活の後天に召されました。失望せずに祈ること（ルカ福音書18章1-7節）も教えられました。

アシュラムの祈りに支えられて二〇一三年には牧之原キリスト教会が誕生し新たな一歩を踏み出すこととなり、今年二〇一八年は創立五周年を迎えます。私たちの教会はアシュラムの祈りから生まれた教会と云うことができます。

もう一つの恵みは、兄弟姉妹による助力と励ましであります。私達の教会は単立教会ですので保障される後ろ楯は主以外にはありません。従って頼りはアシュラムの兄弟姉妹であります。私達をアシュラムに導いてくださった薫科師夫妻とは幾度となく礼拝を共にし、福音の時を持ち、また木部安来師やハーモニカを共に奏でる植草榮一師を招いて伝道集会を持たせて頂き、地元の魂の救いのメッセージを語って頂きました。この伝道会に出られた方々の中からも主を受け入れる人また求道する方が起こされたのです。

アシュラムに通い出してから一四年、気が付いて見れば、関東アシュラムは参加する場所からいつしか帰る家が変わっていました。我家に帰る思いをもって二〇一八年も箱根山荘に上り、敬愛する兄弟姉妹との再会を楽しみにしております。

## 第51回関西地区アシラム報告

日本基督教団 牧師

関西支部書記 脇田眞一

2017年9月17日(日)午後3時〜18日(月・祝)午後3時まで2日間、「母の家ホテル」(神戸市東灘区御影三丁目27-22)で、第51回関西アシラムが開催されました。午後12時に関西支部委員が集まり、予め用意して来た主題聖句、祈りの細胞の割振り表、部屋別の宿泊者名等を会場や受け付け付近の側壁に張付ける作業を行いました。参加者も定刻までにほぼ全員が揃い、午後3時からの開会礼拝を迎えました。参加は18教会、28名(信徒15名、教職13名、男14名、女14名)でした。主題は「御霊の啓導と充滿」、主題聖句は「御霊によって歩きなさい。そうすれば、決して肉の欲を満たすことはない」(ガラテヤ5章16節)(口語訳)と「聖霊があな たがたにくだる時、あなたがたは力を受けて、わたしの証人となるであろう」(使徒行伝1章8節)でした。委員会は6回開きました。

「開会礼拝」は小島十二師が担当、「開心の時」には参加者全員がこの集会に何を期待して出席したかについて発表しました。「祈りの細胞」は5組に分かれ、各組のリーダーには委員が当たりました。

「福音の時」は助言者としてお招きした鎌野

善三師(前関西聖書神学校校長、現在日本イエス・キリスト教団西舞鶴教会牧師)が担当して下さり、「栄光の希望」という題でコロサイ1章24〜29節について話されました。「イエス様は死んで後、復活されました。私たちは祈りにおいて、イエス様を知ることが出来ます。目を閉じて祈る時、イエス様を思い見ることが出来ます。万事祈禱、万事聖霊ということが大切です。イエス様は生きて私たちと一緒にいられます。聖霊の充滿は、今現実におられるキリストを経験し、その喜びを互いに分かち合うことです。コロサイ1章24節に「キリストの体である教会のために、キリストの苦しみ欠けたところを身をもって満たしています」と記されています。キリストのなされたことは全て完全です。ここに記されている「キリストの苦しみ欠けたところ」とは、キリストの死後、福音伝道でパウロが受けた苦難をさしています。私たちは苦しみを受けなかつたら、神の愛は分らない。苦しみがあつたからこそ、福音が伝わりました。

また、「朝の祈り」も鎌野善三師が担当して下さいました。「静聴・分かち合い」は金武士師が担当し、「充滿の時」は清水潔師が担当して下さいました。初めてアシラム集会に参加された方も数名おられました。非常に良い集会であり、来年も続けて参加したいと言われ、神様に心から感謝申し上げます。

## アシラムの祝福のゆえに

池の上キリスト教会 総務主事

石井 寛

## 池の上キリスト教会の祝福

日本クリスチャン・アシラム連盟、関東地区アシラム委員会、そして城北アシラムの事務局として池の上キリスト教会は協力しています。連盟は各地区アシラムを把握し、理事長横山義孝(よしなり)師を中心に理事会組織を運営しています。またその下部組織のひとつ、関東地区アシラム委員会では毎年九月に二泊三日の「関東アシラム」を箱根で開催し、さらに毎年二月には一日アシラムとして東京城北地区四教会持ち回りで「城北アシラム」も開催しています。池の上キリスト教会がそれほどまでにアシラム運動に協力推進しているのは、アシラムの恵みの祝福がいかに大きいゆえかと思えます。近年教会礼拝出席者が二百人を超えることも多くなり(三回の礼拝を行っています)、昨年四月には枝教会が千葉県市川市に誕生し、そこですでに一年間の平均礼拝出席者が五十名を超えています。

**創立者、山根可弐(よしいち)師**

教会で忘れてはいけないことの一つに教会創立者、山根可弐師の教会形成の導きです。先生は役人として建築の働きをされてきました。奥様に先立たれ、ふたりの幼い娘を抱え、途方にくれていたとき、知人を通して再婚されました。母を亡く

想

霊

## 「願い続ける信仰」

マタイ福音書15章21、28節

日本基督教団 隠退教師

安藤 脩

この聖書箇所には、真の信仰の祈りを見る事ができません。

イエス様の周囲には常に、神の国の話を聞き、願い求めを持つ人々が群がっておりまして。今流に言うなら「追っかけ」であります。イエス様は働きをするために人々から離れ、朝まだき、一人で祈ることが度々ありました。でも、もはや、イスラエルの中には、静まって祈れる所がありませんでした。

しかし今回は、「イエスは、御自分が必ずエルサレムに行つて、長老、祭司長、律法学者たちから多くの苦しみを受けて殺され、三日目に復活することになっている、と弟子たちに打ち明け始められた」（マタイ福音書16章21節）とあるように、御自分の受難の時が近づいていることに気付いておられましたから、どうしても祈らなければならなかったのです。だから祈りを邪魔されない異邦人の地・フェニキアのシドンへ行くことにされたのです。しかし、ここにも「イスラエルに、ダビデの子孫から現れる」と預言されていた救い主が、ついに現れたようだ！”という、イエス様のニュースが伝わっ

ていました。

このシドンの地に生まれたカナンの女は、イエス様が来たというニュースを聞いて出て来て「主よ、ダビデの子よ、わたしを憐れんでください。娘が悪霊にひどく苦しめられています」（22節）と叫び訴えました。しかし、イエス様は黙っておられました。弟子たちはイエス様に近寄ってきて「この女を追い払ってください」（23節）と願いました。追い払うだけなら、弟子たちにもできたはずですが、そして試みたはずです。しかし、この女は益々叫びながらついて来たのです。だからこそ弟子たちは「願いを聞いて、早く追い払ってください」と言ったのです。イエス様が黙っておられたのは、この弟子たちを訓練する必要があったからでした。弟子たちは、願い事を持つて来る人よりも、自分たちの都合を優先しました。このような弟子たちの対応は、イエス様の弟子としてもキリスト者としても相応しくありません。「自分自身を愛するように、あなたの隣人を愛しなさい」と言われた主に倣い、成長して欲しかったのです。イエス様が「わたしは、イスラエルの家の失われた羊のところにしかなかったくない」（24節）と言われたのは、弟子の願いを受け入れたからではありませんでした。「目は口ほどにものを言う」という諺がありますが、イエス様の顔には微笑があったようです。なぜなら、

この女性の言動は堅い信仰によるものであることを主はご存知でした。この女性は主の愛を信じ、預言者としてではなく、礼拝すべきお方として「主よ、どうかお助けください」とひれ伏します。このような信仰があるからこそ、「子供たちのパンを取って小犬にやってはいけません」と主に言われても、彼女の確信は変わりませんでした。かえって「主よ、ごもつともです。しかし、小犬も主人の食卓から落ちるパン屑はいただくのです」（27節）と、余裕を持って答えます。差別され、否定されていると感ずるなら、「何言われるのですか！」と怒ったり、失望落胆したりと、感情をあらわに对立してしまうでしょう。しかし彼女は、イエス様の言葉を「ごもつともです」と肯定しているのです。彼女は異邦人としての自分の立場をわきまえています。でもイエス様は、私をユダヤ人たちが言っているような「野良犬」としてではなく、家に飼われている可愛い「小犬ちゃん」と呼んで受け入れてくださっていると、主の愛を信じているからこそ言える返事でした。

主イエス様の愛を確信して願い続ける者を、主は受け入れてくださいます。この異邦の女性は、婦人よ、あなたの信仰は立派だ。あなたの願いどおりになるように。（28節）と願いを聞き入れられました。それだけでなく、私たち主を信じる者の、祈りのお手本となったのです。

した子どもたちは新しい「母」になつき、家庭に平和が築かれて来ましたが、山根師は「ヤソ（キリスト教）嫌い」で、神棚に毎日お供えを強いることなどがあつたようです。そのような先生に神の言葉を携えて嫁いだ方こそ、池の上キリスト教会では「お母さん」と親しくお呼びした恵代（しげよ）先生でした。子どもたちへの接し方、ご主人に対する従順さを見るたびに「岩のごとく固き心、砕くものは御力のみ・讚美歌五一四」を思い起こします。先生の心は徐々に砕かれ、ついには教会へと導かれ、受洗に至りました。

信仰がますます深くなつて、ついには役所を辞め、伝道者への道を歩み始めました。そしてすべてを捨て（持ち家までも孤児救済のために売ってしまうほど）主に従い通されました。

### 池の上キリスト教会創立

そして一九六〇年、「単立池の上キリスト教会」を設立されたのでした。たった七人から始めた教会も一〇年にして小さな家の教会は人が溢れ、新しい下落合の教会へと導かれました。そこで二十五年、ここでも五十人も集まれば一杯になる教会が、特別伝道集会には会堂に入り切れず各部屋にまで人で一杯になりました。先生は「単立」というどこにも属さないで教会形成をするためにも多くの先生方との交流を深め、とりわけスタンレー・ジョーンズ師来日の折、そのアシユラムに参加され、感銘を受けました。「アシユラムの五大原則」とうたわれた「キリストへの明け渡し」、「御言葉への静聴と立証」、「聖

霊の啓導と充満」、「教会への奉仕と伝道」、「神の国の体験と献身」、これらすべてを先生は実践されたのです。

### アシユラムを実践する教会

山根師が一九八九年に天に帰られた後も教会はアシユラムを実践する中で成長し、一九九五年、三鷹の地で三度目の教会形成が始まりました。「求めるものに手を差し伸べ、三百人の礼拝を実現する」という大きなミッション（使命）が与えられ、いまだ道半ばですが、教会員一人ひとりがキリストの救いを確信し、与えられる御言葉を実践し、聖霊の導かれるまま、教会での奉仕と伝道を積極的に行っています。日本の教会のあちろちろで教会員の高齢化、伝道者の不足、子ども、若人たちの教会への無関心、



そして教会閉鎖、減少……しかし今、キリスト者一人ひとりが聖書から受ける神の言葉に聴き従い、証しする必要があるのです。そのためには各地のアシユラムに参加し、御言葉に導かれた「神の国の体験と献身」が必要なのです。

### アシユラム予告

- 第43回西川口教会アシユラム  
とき 7月7日（土）〜8日（日）  
助言者 西海 満希子師
- 横浜岡村教会アシユラム  
とき 7月14日（土）〜15日（日）  
助言者 杉本 泉師
- 第53回九州アシユラム  
とき 9月16日（日）〜17日（月・休）  
会場 福岡黙想の家 助言者 榎本 恵師
- 第56回関東アシユラム  
とき 9月17日（月・休）〜19日（水）  
会場 箱根山荘 助言者 西海 満希子師
- 第52回関西アシユラム  
とき 9月23日（日）〜24日（月・休）  
会場 母の家ホテル 助言者 未定
- 函館栄光教会一日アシユラム  
とき 10月8日（月・休） 助言者 未定
- 第50回城北アシユラム  
とき 19年2月11日（月・休）  
会場 池の上キリスト教会 助言者 安藤 脩師

#### 編集後記

長らく連盟理事を奉仕されてきました木部安来師は去る5月15日、86歳のご生涯を終えご召天されました。

なお、各地でのアシユラムの詳細につきましては事務局までお問い合わせください。

